

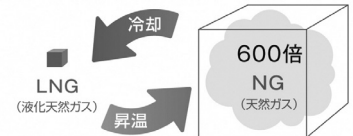
# 環境負荷低減に貢献するエネルギー・LNGを紹介します

固産業労政課 43-9048

八戸市はさまざまなエネルギーの供給拠点となっており、これらのエネルギーは、企業の生産活動や市民の皆さんの日常生活など、さまざまな場面で利用されています。今回は八戸市で供給されているエネルギーの中から、環境負荷が少なく、CO<sub>2</sub>排出量の削減に寄与されるエネルギーとして注目されるLNG(液化天然ガス)について紹介します。

## LNG(液化天然ガス)とは？

- 石油や石炭のような化石燃料の一種で、海外のガス田から産出された天然ガスから硫黄・炭酸ガスなどの不純物を除去し、マイナス162度以下に冷却した液体です。
- 天然ガスは液化することで、気体状態に比べて体積が600分の1になるため、輸送効率が非常に高いエネルギーです。



## LNGは環境にやさしいエネルギーです！

LNGは化石燃料の中でも燃焼時のCO<sub>2</sub>排出量が最も少ないエネルギーで、石炭と比較すると排出量は約6割です。また、酸性雨や大気汚染の原因とされるNO<sub>x</sub>(窒素酸化物)は約4割、SO<sub>x</sub>(硫黄酸化物)は排出ゼロで、ばいじんがほとんど発生しません。

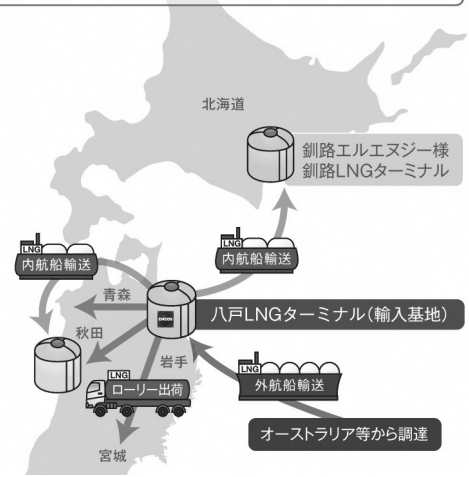
## 北東北最大のLNG輸入・供給基地「八戸LNGターミナル」

八戸市には、ENEOS エルエヌジーサービス(株)が運営する総貯蔵量28万キロリットルのLNGタンク・大型LNG外航船が着船可能な棧橋・国内最大級のローリー出荷設備を有する「八戸LNGターミナル」があります。

海外から輸入されたLNGはタンクに貯蔵された後、**火力発電所の燃料**や**都市ガスの原料**、**工場での事業活動**に利用されるなど、私たちの日常生活にも密接に関わっており、環境負荷が少ない暮らしに貢献しています。また、ローリーや内航船で、東北・北海道に輸送されるなど、八戸LNGターミナルは市民生活や周辺地域のエネルギー需要を支えています。

八戸LNGターミナルの存在によって、LNGが身近なエネルギーとなり、工場などで使う設備の燃料を、重油からLNGに転換して環境負荷低減に取り組んでいる事業者が増えてきています。

東北、道東に天然ガス・LNGを供給



## CO<sub>2</sub>排出抑制に取り組む事業者を応援しています！

市では、環境負荷が少ないエネルギーシステムに転換してCO<sub>2</sub>の排出を抑制する事業者に対し、その経費の一部を補助しています。

### 八戸市エネルギーシステム転換支援事業補助金

|      |  |
|------|--|
| 対象事業 | エネルギー起源二酸化炭素の排出の抑制のために、事業者が行う石油代替に資するエネルギーシステムの転換に要するもので、エネルギー起源二酸化炭素の削減率が原単位でおおむね15%以上のもの |
| 対象経費 | ①機械装置等購入費 ②工事費   |
| 補助金額 | 対象経費の1/6または200万円のいずれか低い額<br>※対象経費が1億円以上の場合は上限1,000万円                                       |

エネルギーシステムを重油からLNGを使用する装置に切り替える際にも利用できます。